

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ゆずの家		公表日		2024年 12月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	定員に対してスペースを確保しています。	今後もスペースを十分確保し、安全に過ごせるようにします。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	定員に対して職員も配置しています。 利用定員に対して職員を多く配置しており、子供	引き続き適切な人数配置をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	特性に応じてカードなどを使って支援しています。 バリアフリーにはなっていないが配慮は行っています。	今後も特性に応じた対応に配慮していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日清掃しています。きれいに整理し、心地よく過ごせるようにしています。 毎日掃除機雑巾がけをしており、清潔に保って	床等修繕を検討します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	学習・課題スペースや集団、個別療育のスペースを確保しています。 必要に	スペースは区切られているが、音が漏れてしまう状況。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日ミーティングを行い、情報共有をしています。 定期的	今後も情報共有をし、より良い支援を行っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価の意見を反映するようにしています。	業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の会議において意見を聞く機会を作っています。 その都度	今後も会議、研修、食事会等を積極的に行い、業務改善に努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	実施していません。	今後必要であれば検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	オンライン、外部内部などの研修を実施しています。 てんかんの	今後も積極的に研修に参加し、支援の質の向上に努めていきます。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ゆずの家のしおりに記入しています。	今後も連絡帳を通して、日々のプログラムをお伝えしていきます。		

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	6	0	ニーズや課題に合った放課後等デイサービス支援計画を作成しています。  計画作成前に保護者との面談があり、その上で作成されています。	今後もアセスメント、モニタリング、面談を通して子どもと保護者のニーズ、課題を分析し個々に適した個別支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	その都度会議が行われるので、関わっています。  原案をもとに会議を行い、共通理解できるように話し合いを行い検討されています。	今後も引き続き子ども達の最善の利益を考えて支援していきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	会議があり、計画の詳細について共有する時間があり、計画に沿った支援が行えるようになっています。  表にまとめており、確認しやすいようにしています。  計画に沿えるよう職員間でコミュニケーションをとりなが	今後も職員間で共有し、個別支援計画に沿った適切な支援が行えるように努めていきます。
	15	子どもの過激行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	記録に残す努力をしています。	インフォーマルはしているが、フォーマルは今後可能な範囲で検討していきます。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	誰にでもわかりやすい内容を具体的に記載しています。  利用計画をもとに家族・本人のニーズ、長期目標	今後も家族・本人のニーズを汲み取りながら具体的にわかりやすく記載していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	話し合いを持つようにしています。  ミーティング	今後も様々なプログラムを立案していただけるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	話し合いを持つようにしています。  支援開始前に打ち合わせをしています。	今後もスタッフ間で意見交換をしプログラムが固定化されないように工夫していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	0	毎日個別支援と集団支援を取り組み連絡帳に記入しています。 一人ひとりの状況に応じて個別支援と集団支援を組み合わせる支援計画を作成しています。	今後も家族・本人のニーズを汲み取りながら個別、集団と支援内容に合った組み合わせをして支援します。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日行われ、タイムスケジュールの確認をしています。 ミーティングを行い、一日の流れを確認しています。 その日の流れについて、その日のスタッフが全員揃ってから打ち合わせをしています。 毎日会議し、内容やタイムスケジュール、役割を話し合い職員間で連携して支援を行っています。	今後も引き続き確認を行っていきます。	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	必ずではないが気になったことがあれば話すようにしています。  送迎等で支援後は難しいが、翌日振り返り、休みの人にも伝わるように記録しています。	送迎などで最初から参加できないときがあるが、必ず打ち合わせを行い、遅れた人にもしっか伝えられるよう、次の日の打ち合わせや毎日の会議録で共有し合っています 今後引き続き業務日誌を活用し行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日誌や連絡帳で毎日記録を残し、いつでも見返せる状態になっています。	今後半年に一回支援計画の評価・見直しを行っていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一回モニタリング、保護者面談、スタッフ会議を行い、それをもとに支援計画の見直しを行っています。	今後半年に一回支援計画の評価・見直しを行っていきます。
24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供の4つの基本活動を組み合わせる支援を行っています。	今後引き続き様々な活動を組み合わせる支援を行っています。
25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	二つ以上の選択肢があれば行っています。  6か月に選択でき	自己決定する機会があり、サービス中に決めたことを全スタッフに共通理解することが難しく、上手く行く方法があればその都度個々に合わせて事前に話し合うようにしていきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	参画できるよう調整しています。児童発達管理者が会議に参加し、必要などには指導員も参加しています。  会議の内	今後引き続き参画していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	連携が取れるようにしています。	今後引き続き連携していきます。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	現在が必要でないので取っていません。	現在は必要ではないので取り入れてないが必要に応じて連携を図っていきます
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	幼稚園等とは触れ合えていませんが、大型公園等で地域の子供達と仲良く遊べるよう声掛けしています	コロナ前のように児童館等へ行くことも検討できれば長期休暇（夏休み）等を利用してこのような機会を設けていきます
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に保護者と会話し変化等はミーティング等で全体で共通認識しています。連絡帳や送迎時、面談の機会を通して、共通理解を持つことができます。	今後引き続き行い、送迎時に最近の様子や困りごとがないかを伺い相談しやすい環境を整えます。 送迎時に状況の話をするが、短い時間で説明するのが難しいときは管理者に伝え連絡を取ってもらうなど連携を図ります
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要な時情報提供を行っています。家族が参加できる研修は行っていません	今後保護者から相談があれば面談などを通して助言しています。家族が参加できる研修会等は今後必要であれば検討していきたいです。
32	<b>【児童発達事業所・児童センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
33	<b>【児童発達事業所・児童センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	<b>【児童センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	<b>【児童センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	<b>【児童センターのみ】</b> （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	分からない時は事前に連絡をとるようにしています。 学校の先生と年間計画や行事の予定を常に連絡しています。	今後も引き続き継続していきます
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	就学前の利用者に対して相談員と事業所で連絡しています。 必要な時に相互理解に努めています	今後も引き続き継続していきます
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	相談員をとおして情報提供しています	卒業する利用者がある場合相談員をとおして必要に応じて情報提供を行います
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	可能な場合参加しています	自立支援協議会等でどのようなテーマでどのような話し合いがされているか、もっと広く知れるといいと思います
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明しています 送迎時や連絡帳で支援内容を説明しています	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成前に必ず面談を入れています。 支援計画の際子供や家族の意向を確認しています。 保護者に対して支援計画を示しながら丁寧に説明しています	今後も引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画をする前に保護者にモニタリングをしています。計画を示しながら口頭で説明して、同意を得ています。 説明を行い同意を得ています。	今後も引き続き丁寧な説明を行い同意を得ていきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	個別支援計画のモニタリング時やその他の機会でも必要に応じて対応しています。 送迎時に様子を聞いたり、電話やメール等にて相談をして面談を行い支援して行っていない。	今後も引き続き対応し、送迎時に最近の様子や困りごとがないかを伺い相談しやすい環境を整えていきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		仕事をしている保護者が多いので難しいと思うが、今後機会を設けていければと思っています。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	管理者が契約時、契約書をもとに苦情窓口の説明を行っています。苦情や意見に対して迅速に対応させていただいています	今後も迅速かつ適切に対応させていただきます。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	行事やクッキングの時に写真を撮っています。 年2回ゆずの家新聞を発行しています。 通信を発行する事によって保護者に対して様子が伝わっていると思います。	今後も引き続き継続していきます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報鍵付きの書庫に入れ保管し、不要書類はシュレッダー処理しています。	今後も引き続き徹底して継続し、記名があるものへの取り扱いには十分気を付けていきます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	送迎時に口頭で説明、連絡帳の活用、必要であれば電話連絡など個々に合わせた配慮をしています。	今後も引き続き継続していきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	現在は行っていません。	今後検討していきます。
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	帰りの送迎指示に相談に応じています。 相談を受けたときは一緒に考え、悩み事に対応した報告があれば伝えたり助言を行っています。	今後も引き続き対応し、送迎時に最近の様子や困りごとがないかを伺い相談しやすい環境を整えていきます。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルは事業所に設置しています。 契約時、契約書をもとに面談時お知らせ	今後も引き続き周知徹底に努め、マニュアルを掲示していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	同じ訓練ばかりでにならないように配慮しています。 2カ月に一回避難訓練を行っています。 訓練以外にも個別支援計画に防災についての項目があり、よく意識出来ていると思います。 夏の長期休暇には防災センターで様々な体験を行っています。	避難だけではなく断水時のトイレの使い方や避難所で過ごす事を想定したシュミレーションなどを含め、引き続き実施していきます。

非常時等の対応	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	定期的にフェイスシートを更新 3施設合同でてんかん発作の講習を受けています。	今後も引き続き継続していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時にアレルギーの有無を確認しています。現在はいいい	今後も引き続き継続していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	はい。	今後も引き続き継続していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	しています。避難場所は陵南公民館となっていることを周知しています。	今後も引き続き継続していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	積極的に用いて安心安全な支援ができるようにしていきたいです。 何か自分でヒヤリしたとかハッとした時にはヒヤリハットを書きみんなて共有しています。 ヒヤリハットを共有しいつでも見返す事が出来るようになっており、ヒヤリハットの研修の機会もあります。 ヒヤリハット事例を出すようにしています。その都度情報を共有して事故防止に努めています	今後も引き続き継続していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	困った時、迷った時はその都度確認しています。 2年に1回虐待防止の研修をしています。外部、内部研修を行っています。	虐待についての外部研修、内部研修をもとに実施しています。職員の知識向上とともに相談しやすい環境づくりに努め、虐待防止に努めていきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	対象となる利用児童がいないです。 現在はいいい。	今後やむを得ず身体拘束が必要な場合は組織的な決定をもとに保護者に説明し個別支援計画へも記載します。